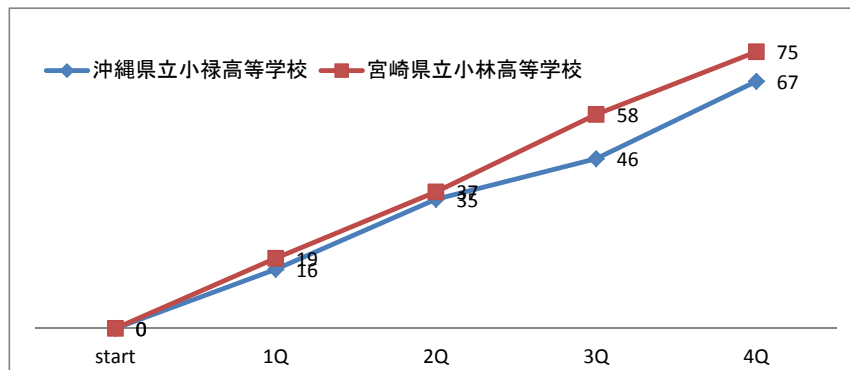


平成25年度 全九州高等学校体育大会 第66回 全九州高等学校バスケットボール競技大会 男子の部

シード決定戦	沖縄県立小禄高等学校	67	16 - 19	75	宮崎県立小林高等学校
主審 太田 康治	(沖縄県2位)	●	19 - 18	○	(宮崎県2位)
副審 萩尾 繁治			11 - 21		
第二副審 寺田 祥			21 - 17		
			-		

No. 23b4 日時: 2013年6月23日(日) 13:30 会場: 宮崎県体育館



沖縄県立小禄高等学校

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	池田 祐一	0	0	0	0	
5	* 神里 和	8	0	4	0	
6	富山 清一郎	3	0	1	1	
7	新城 拓馬	-	-	-	-	
8	* 比屋根 貴也	4	0	2	0	
9	* 平良 優介	21	1	8	2	
10	* 武富 海志	6	0	2	2	
11	比嘉 憲吾	0	0	0	0	
12	上良 潤起	8	1	2	1	
13	松川 幹樹	5	0	2	1	
14	* 金城 泰貴	12	0	5	2	
15	松田 悠太郎	-	-	-	-	
コーチ	嘉陽 宗紀					
合計		67	2	26	9	0

宮崎県立小林高等学校

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 岩松 永太郎	5	0	2	1	
5	* 畠中 康希	0	0	0	0	
6	宮崎 祐輔	14	0	7	0	
7	黒木 靖大	-	-	-	-	
8	* 島元 滉平	12	3	1	1	
9	* 黒岩 郁弥	20	0	8	4	
10	村角 健陽	0	0	0	0	
11	斉藤 大介	3	1	0	0	
12	蔵満 恭助	7	0	2	3	
13	高田 宝聖	-	-	-	-	
14	* 濱砂 賢人	14	1	5	1	
15	高山 寛史	0	0	0	0	
コーチ	石川 祐二					
合計		75	5	25	10	0

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

第1ピリオド、お互いに主導権を奪い合う激しいディフェンスの応酬となる。先制は小林。ミドルシュートの決定力が定まらない小禄のリバウンドをものにし、得点へと結びつける。しかしながら、小禄もここから粘りを見せる。タイトなディフェンスから、巧みなパスワークを見せ、再び試合を膠着させる。残り4分、小禄はメンバーを全員交代、ディフェンスをフルコートのゾーンプレスに変化させ、試合の主導権を我がものにしようとする。しかし、小林もこれに冷静に対応、試合は大きな変化なく再び膠着することとなった。

第2ピリオド、それまで不発に思われた小禄のミドルシュートが決まり、点差が詰まり始める。しかしながら、小林も#8や#6が確実にシュートを決めると、試合は再び膠着状態となった。結果、一進一退の状態のまま35-37の小林リードで前半を折り返すこととなった。

第3ピリオド、立ち上がりから前半同様の激しい主導権争いとなる。お互いに、コートを広く用いた攻撃を展開し、試合は一進一退の様相を呈する。しかし、開始6分過ぎ、小禄の瞬間のパスの乱れをついた小林は、#14らの連続得点により、試合の主導権をつかみ始める。流れを変えようと、小禄も必死の反撃に出るが小林の勢いは止まらず、46-58と小林がリードする。

第4ピリオド、小禄はゾーンプレスを用い、再び激しい攻防をしかける。しかしながら小林は、ディフェンスリバウンドと相手のパスの乱れを確実にものにし、#9のドライブイン等で追撃を許さず、試合は点差を保ったままの一進一退の展開となる。その後も小禄は、最後までその追撃の手を緩めることなく、残り1分、再び#9の連続得点で詰め寄りを見せたが、一步届かず、小林が追撃を振り切って試合に勝利した。

記載者

堀切 茂